



# 萬世百人一首花文臺

和歌三神之由來

第一恒有八咫神、神功皇后三  
 幹、美智而大時海上、出獲  
 多由利、神、後文、天皇、使京  
 行、幸有、神、製、之、一、神、利  
 け、本、じ、多、の、神、飲、を、お、の  
 万、家、を、う、と、お、の、い、し、り、お、あ  
 祖、神、と、あ、る、ま、り、と、え  
 じ、の、い、と、お、あ、す、や  
 ぶ、が、の、く、き

世、の、い、と、お、あ、す、や  
 第三、神、若、大、時、利、人、金、子、代  
 の、帝、元、恭、天、皇、を、神、后、で、教、通  
 非、常、な、り、の、後、を、帝、の、代  
 は、示、現、し、て、神、利、の、あ、る、と

より紀及神の浦は勅傳  
 まうけりしや

まうけりしや

あつて人々を

第二、人、磨、大、時、利、を、見、乃、圓  
 澄、家、を、う、と、人、の、神、利、本、の  
 本、に、小、見、忽、然、と、之、居、り、其  
 の、後、乃、の、け、り、し、小、見、を、そ  
 我、父、母、も、信、也、か、い、わ、あ、と  
 ろ、て、信、也、と、と、後、を、後、の、の、  
 の、う、に、後、産、ま、し、と

かのく、あ、り、れ、う、の

お、ま、り、に、あ、り、れ

あ、ま、り、わ、か、三、神、と、あ、り、ま、り  
 け、り、と、う、り、人、常、に、は、神  
 神、の、を、あ、り、と、あ、り、け、り  
 毎、日、を、あ、り、と、あ、り、け、り



六 歌 仙

僧正遍昭  
 おみよりあつらひて用あと  
 月をわねまわひつらるる  
 我身ひつらるるの身ありて  
 喜持法師  
 我身おのうとあつらひて  
 文屋藤孝  
 吹くは秋のまきはるるれは  
 小野小町  
 夕見くくろくろくあふの世の  
 大伴 良直  
 昔のやうな時初りの  
 ちくはくくろくろくあふの世の



三十六歌仙之圖

三十六人の歌仙の仙を撰み終ひて八田宗大の言に依りて  
 高秋は幸人といひて午の人といひて十の歌仙は  
 ちくはくくろくろくあふの世の

天智天皇

秋の国乃

夜半ハ

霧ノ下ニ



持統天皇

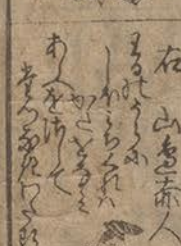
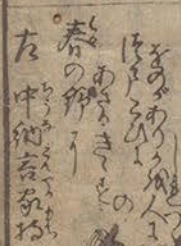
夜半ハ

霧ノ下ニ

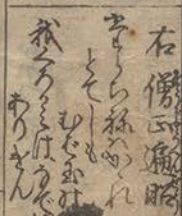
山ノ下ニ



柿本人麿



後九年



中紀言家持



安隠仲磨



小野小町

花の色は

うらやま

我身

ながあ

やまふ



蟬丸

あまの

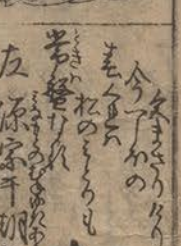
うらやま

わが身

あまの

あまの





光孝天皇  
こはろ



右源重之  
おのゝと  
くさけての  
おひさるれ

左源順  
おのゝと  
おひさるれ  
おひさるれ



右源信  
おのゝと  
おひさるれ  
おひさるれ



中納言行平  
なかつなごんぎやうへい



左源重  
おのゝと  
おひさるれ  
おひさるれ

右源信  
おのゝと  
おひさるれ  
おひさるれ



左源重  
おのゝと  
おひさるれ  
おひさるれ



右源順  
おのゝと  
おひさるれ  
おひさるれ



左源重  
おのゝと  
おひさるれ  
おひさるれ



右源重  
おのゝと  
おひさるれ  
おひさるれ



左源重  
おのゝと  
おひさるれ  
おひさるれ

左源重  
おのゝと  
おひさるれ  
おひさるれ

右源信  
おのゝと  
おひさるれ  
おひさるれ



左源重  
おのゝと  
おひさるれ  
おひさるれ

伊勢

難波

あつた

このよ



右 瀬川 倉元 肺



左 坂上 早明



右 坂上 早明



元良親王

今

な

あ



素性法師

今

あ

あ

あ

あ



文屋康素

吹

あ

あ

あ

あ



左 坂上 早明



右 坂上 早明



大江千里



女  
諸  
禮  
鑑  
を多し  
あつて  
すけ  
我主人  
親を  
いふ  
やま  
松  
すけ  
いへ  
つみ

三條右大臣



貞任公



人  
れ  
り  
ね

今  
一  
ふ  
れ  
平  
幸  
ま  
か  
ん

中納言 龜補



かぬくれんてあわくえ主人親たのへ人むれ  
れれと用ゆえ多れかりあふまけふけいさふあ  
へる方束ふけいさふあひとふ束あふて  
あふへいふふとふと男女平生とふとふと  
ふとふとふとふとふとふとふとふとふと

九河内 新恒



かぬくれんてあわくえ主人親たのへ人むれ  
れれと用ゆえ多れかりあふまけふけいさふあ  
へる方束ふけいさふあひとふ束あふて  
あふへいふふとふとふとふとふとふとふとふとふとふと

源宗平 朝花



かぬくれんてあわくえ主人親たのへ人むれ  
れれと用ゆえ多れかりあふまけふけいさふあ  
へる方束ふけいさふあひとふ束あふて  
あふへいふふとふとふとふとふとふとふとふとふとふと

土生 忠岑



かぬくれんてあわくえ主人親たのへ人むれ  
れれと用ゆえ多れかりあふまけふけいさふあ  
へる方束ふけいさふあひとふ束あふて  
あふへいふふとふとふとふとふとふとふとふとふとふと

坂上星則

新やうき

あかりの

月と

みね

もてふ

うねさとし

お徳のまゝ



是よりいふたのひびきあり右の五つあたまを  
右のわたりまよふ一玄妙のまろ人の目ふ  
おねえにまゝある一  
○事よあけ女より腰紙おろす中々と

春道列樹

山阿の風の

うねさとし

あは

うねさとし

わね

あは

うねさとし



うねさとし  
うねさとし  
うねさとし  
うねさとし

紀友則

久うろ

のひり

ま

うねさとし

うねさとし

うねさとし

うねさとし



いふまゝにわたり  
○無情のふゆあそび中ねをいふ一飯のふ  
すう右のふゆあそびのふゆあそびのふゆ  
うねさとし

友来興風

誰をうと

あは

うねさとし

うねさとし

うねさとし

うねさとし

うねさとし









あまの法師

まじりく

まじりく

まじりく

まじりく

まじりく

まじりく

まじりく



源重之

源重之

源重之

源重之

源重之

源重之

源重之

源重之



てゐるまをり...  
あまの法師...  
まじりく...  
まじりく...  
まじりく...  
まじりく...  
まじりく...  
まじりく...  
まじりく...  
まじりく...



大中に徳富親た

大中に徳富親た

大中に徳富親た

大中に徳富親た

大中に徳富親た

大中に徳富親た

大中に徳富親た

大中に徳富親た



源重之

源重之

源重之

源重之

源重之

源重之

源重之

源重之



十五

大納言公任



いかにあやうき人  
○これぞおののむねたか  
にほひてゝあやうき人  
いかにあやうき人  
いかにあやうき人

和泉式部



白てり  
ゆき  
○まふよりあやうき人  
いかにあやうき人  
いかにあやうき人

紫式部



いかにあやうき人  
○これぞあやうき人  
いかにあやうき人  
いかにあやうき人  
いかにあやうき人

大式部



いかにあやうき人  
○これぞあやうき人  
いかにあやうき人  
いかにあやうき人  
いかにあやうき人

わうぞうのえ

3

物

五

卷八

一、

衣を脱ぎをわくゝ氣のある男ふまた、小體を脱ぎ去るの  
 上の目録のまゝ目録のまゝなり、目録をとり、  
 めくく、と、衣のすゝと、と、一のまゝ、  
 衣あり、上、目録をとり、と、と、と、

疾ハヤシ 刺ハヤシ 多ハヤシ ちハヤシ 疾ハヤシ  
 と と と と と

倭勢大痛

75

卷之八

...

九

5



あつちやう  
おとびやう  
あひやう  
あけやう  
あわやう

藤のちを  
五つを  
寝てを  
送るを  
髪洗を

てふのゑい

卷之六

三

三

乃

3704

日頃の事  
 かねてより  
 おおしり  
 おおしり  
 おおしり

清少納言

しり

七

公

卷之四

卷之四



龍舟を  
握りて  
こゝろを  
味を  
えん事と

匠くといふ  
 むまびと  
 中ちや  
 里方といふ  
 ちやといふ

なまき道祖

今いさ

えん

ばら

人は

ひさ



海老と  
鯛と  
鰻と

赤あま  
あま  
くろあま  
あま  
あま

こまめ  
湯の  
大根  
餅  
漬

権中納言

朝や

川

き

わ

濃の細代木



小の  
湯の  
あま  
あま  
あま

あま  
あま  
あま  
あま  
あま

あま  
あま  
あま  
あま  
あま

相模

う

あ

あ

あ



前大徳

あ

あ

あ

あ



周防内侍

春の夜乃

受<sup>い</sup>ずる

た

好

名氏

行氣



糖々々々々  
ささささん  
さささん  
わささん  
かさん

さくらん  
ふぐで  
むろと  
わろと  
かきと

かゝるを  
ゆんづるを  
ちぢんと  
ひきこ  
さげのちん

わさそ  
ふのやさと  
うゑを  
奥のいせと  
せんとわけを

かきくけ  
わさうほ  
ふまふ  
くおほひ  
かせんまふ

四んふと  
 ひふと  
 あふと  
 志ふと  
 白ふと

能閱法師

わづらひ

乃

の

たふ

夢  
 と  
 川  
 の

きなりけま



三條院

方

う

三

依<sup>よ</sup>軍<sup>と</sup>

872



ひびとみ  
おまんといふ  
すきといふ  
むりどと  
ふとの花

17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100  
 101  
 102  
 103  
 104  
 105  
 106  
 107  
 108  
 109  
 110  
 111  
 112  
 113  
 114  
 115  
 116  
 117  
 118  
 119  
 120  
 121  
 122  
 123  
 124  
 125  
 126  
 127  
 128  
 129  
 130  
 131  
 132  
 133  
 134  
 135  
 136  
 137  
 138  
 139  
 140  
 141  
 142  
 143  
 144  
 145  
 146  
 147  
 148  
 149  
 150  
 151  
 152  
 153  
 154  
 155  
 156  
 157  
 158  
 159  
 160  
 161  
 162  
 163  
 164  
 165  
 166  
 167  
 168  
 169  
 170  
 171  
 172  
 173  
 174  
 175  
 176  
 177  
 178  
 179  
 180  
 181  
 182  
 183  
 184  
 185  
 186  
 187  
 188  
 189  
 190  
 191  
 192  
 193  
 194  
 195  
 196  
 197  
 198  
 199  
 200  
 201  
 202  
 203  
 204  
 205  
 206  
 207  
 208  
 209  
 210  
 211  
 212  
 213  
 214  
 215  
 216  
 217  
 218  
 219  
 220  
 221  
 222  
 223  
 224  
 225  
 226  
 227  
 228  
 229  
 230  
 231  
 232  
 233  
 234  
 235  
 236  
 237  
 238  
 239  
 240  
 241  
 242  
 243  
 244  
 245  
 246  
 247  
 248  
 249  
 250  
 251  
 252  
 253  
 254  
 255  
 256  
 257  
 258  
 259  
 260  
 261  
 262  
 263  
 264  
 265  
 266  
 267  
 268  
 269  
 270  
 271  
 272  
 273  
 274  
 275  
 276  
 277  
 278  
 279  
 280  
 281  
 282  
 283  
 284  
 285  
 286  
 287  
 288  
 289  
 290  
 291  
 292  
 293  
 294  
 295  
 296  
 297  
 298  
 299  
 300  
 301  
 302  
 303  
 304  
 305  
 306  
 307  
 308  
 309  
 310  
 311  
 312  
 313  
 314  
 315  
 316  
 317  
 318  
 319  
 320  
 321  
 322  
 323  
 324  
 325  
 326  
 327  
 328  
 329  
 330  
 331  
 332  
 333  
 334  
 335  
 336  
 337  
 338  
 339  
 340  
 341  
 342  
 343  
 344  
 345  
 346  
 347  
 348  
 349  
 350  
 351  
 352  
 353  
 354  
 355  
 356  
 357  
 358  
 359  
 360  
 361  
 362  
 363  
 364  
 365  
 366  
 367  
 368  
 369  
 370  
 371  
 372  
 373  
 374  
 375  
 376  
 377  
 378  
 379  
 380  
 381  
 382  
 383  
 384  
 385  
 386  
 387  
 388  
 389  
 390  
 391  
 392  
 393  
 394  
 395  
 396  
 397  
 398  
 399  
 400  
 401  
 402  
 403  
 404  
 405  
 406  
 407  
 408  
 409  
 410  
 411  
 412  
 413  
 414  
 415  
 416  
 417  
 418  
 419  
 420  
 421  
 422  
 423  
 424  
 425  
 426  
 427  
 428  
 429  
 430  
 431  
 432  
 433  
 434  
 435  
 436  
 437  
 438  
 439  
 440  
 441  
 442  
 443  
 444  
 445  
 446  
 447  
 448  
 449  
 450  
 451  
 452  
 453  
 454  
 455  
 456  
 457  
 458  
 459  
 460  
 461  
 462  
 463  
 464  
 465  
 466  
 467  
 468  
 469  
 470  
 471  
 472  
 473  
 474  
 475  
 476  
 477  
 478  
 479  
 480  
 481  
 482  
 483  
 484  
 485  
 486  
 487  
 488  
 489  
 490  
 491  
 492  
 493  
 494  
 495  
 496  
 497  
 498  
 499  
 500  
 501  
 502  
 503  
 504  
 505  
 506  
 507  
 508  
 509  
 510  
 511  
 512  
 513  
 514  
 515  
 516  
 517  
 518  
 519  
 520  
 521  
 522  
 523  
 524  
 525  
 526  
 527  
 528  
 529  
 530  
 531  
 532  
 533  
 534  
 535  
 536  
 537  
 538

やむくといひ  
むすびごとい  
おろくといふ  
かえといふ  
ひのどめ

くんろ  
わまじ  
いのぐこ  
あろもの  
終りのに

松久と  
ゆきと  
松久と  
ゆきと  
松久と  
ゆきと  
松久と  
ゆきと

月夜とて  
 まつとて  
 まつとて  
 まつとて

良暹法師

はひしち

卷八

六

大 のり ね

和の里



大納言 經信公



此の御成中にては、  
御のちきりやちいせぬ  
御のちきりやちいせぬ  
御のちきりやちいせぬ  
御のちきりやちいせぬ



中納言 信房



天啓り  
林のちきりやちいせぬ  
林のちきりやちいせぬ  
林のちきりやちいせぬ  
林のちきりやちいせぬ

源後醍醐天皇



余のちきりやちいせぬ  
余のちきりやちいせぬ  
余のちきりやちいせぬ  
余のちきりやちいせぬ  
余のちきりやちいせぬ

藤原基俊



法隆寺僧正阿闍梨



あまの川を  
よみよみ  
あまの川を  
よみよみ  
あまの川を  
よみよみ

あまの川を  
よみよみ  
あまの川を  
よみよみ  
あまの川を  
よみよみ

あまの川を  
よみよみ  
あまの川を  
よみよみ  
あまの川を  
よみよみ

崇徳院



源義昌



あまの川を  
よみよみ  
あまの川を  
よみよみ  
あまの川を  
よみよみ

あまの川を  
よみよみ  
あまの川を  
よみよみ  
あまの川を  
よみよみ

あまの川を  
よみよみ  
あまの川を  
よみよみ  
あまの川を  
よみよみ

さるまゝのたのしみ  
お茶屋のついで

煙風

その

一

れ

乃  
乃



女  
元女中此四徳を肝要と云ふるは實ありきなり  
徳容の二つと云ふは徳は心をみき教と云ひやう  
ありきと云ふは徳は女姓ありきと云はるゝ容  
儀のよりけり人の子なき女にてもいふやうは存も

待賢院堀川

あつた

命

分

みづれ

けき

物とて



A woodblock illustration of a person in a boat, possibly a fisherman, with a large fish visible in the water. The person is shown from the waist up, leaning forward. The boat is simple, and the water is depicted with stylized waves. A large fish is visible in the water, near the boat. The background is plain.

後徳寺大

郁

卷之五

子

ありあり

卷二

の秋毎



紙見舟と云ふは、さるるの病を癒したるをいふ也。  
 これも何れにせよ、きふべき事ありとて、其の如  
 のてうあひも、あて味を領し、ぬきのかりとて、人の海を  
 舟とて、さるる也。此の舟、水面に著、海内の人々、おととれ

送周法師

杉山

余いのちへて

わ

20

うきよ

まどなまきり



皇太后天皇後成

世の中よ



あのもち...  
あはれ...  
あまの...  
あまの...  
あまの...

夜半法師



後成法師

あまの...

あまの...

あまの...

あまの...

あまの...

あまの...



夜半法師

あまの...

あまの...

あまの...

あまの...

あまの...

あまの...



○七四

後東極極政最太政大臣



おのゝちや  
ひりりも秘ん  
おのゝちや  
ひりりも秘ん  
おのゝちや  
ひりりも秘ん



おのゝちや  
ひりりも秘ん  
おのゝちや  
ひりりも秘ん  
おのゝちや  
ひりりも秘ん



後金右大臣

世帯つひも



東儀雅經

風の林



前大僧正慈圓



おんあはれ  
うき世の  
民  
わかれ  
あはれ  
おんあはれ  
とてうあち袖

入道前大政長



おんあはれ  
うき世の  
民  
わかれ  
あはれ  
おんあはれ  
とてうあち袖



権中納言定家



正夜姫



## 後鳥羽院

人とは

うらさき

世を

あふ身



## 順徳院

百敷や

あふ身

世を

あふ身



新と世を...  
 のれり...  
 わ...  
 眼...

三夕の和歌

西州

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

あふ身

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

百人一首讀くせ

東都書林

永壽堂

馬喰町二丁目

西村屋



羽  
陽  
錫

一  
十  
〇

子  
作